

藤岡市過疎地域持続的発展計画（令和3年度～令和8年度）の達成状況の評価【令和3年度】

（数値の単位：人）

項目		前年度 (令和2年度)	状況 (令和3年度)	比較	達成状況の評価
旧鬼石町区域	人口（年度末日時点）	4,952	4,786	-166	<p>・旧鬼石町区域の人口は4,786人であり、前年度と比較して166人の減である。社会増減は社会減、自然増減は自然減であり、社会増減では区域外への市内転居が小さい分前年よりも減少幅が小さくなっている。転入及び転出数の減少は新型コロナウイルス感染拡大の影響によるものと考えられる。自然増減では出生数が前年度と同程度であったが死亡数が大きい分減少幅が大きくなっている。</p>
	社会増減	-93	-76	17	
	転入（増）	82	68	-14	
	区域外からの市内転居（増）	22	21	-1	
	転出（減）	140	131	-9	
	区域外への市内転居（減）	50	26	-24	
	その他	-7	-8		
自然増減	-73	-90	-17		
出生（増）	10	11	1		
死亡（減）	83	101	18		
藤岡市全域	人口（年度末日時点）	64,110	63,291	-819	<p>・市全域の人口は63,291人であり、前年度と比較して819人の減である。社会増減は社会減、自然増減は自然減である。転入及び転出数の減少、出生数の減少は新型コロナウイルス感染拡大の影響によるものと考えられる。</p> <p>・旧鬼石町区域の人口減少を緩和し、将来的に人口維持から可能な限り増加への転換を図っていくため、本計画に掲げる取組を継続する必要がある。</p>
	社会増減	-233	-237	-4	
	転入（増）	1,817	1,610	-207	
	転出（減）	1,991	1,808	-183	
	その他	-59	-39		
	自然増減	-477	-582	-105	
	出生（増）	338	275	-63	
死亡（減）	815	857	42		

* 各値は住民基本台帳による。

* 社会増減は転入者数等から転出者数等を減じその他の異動を加えた値であり、自然増減は出生数から死亡者数を減じた値である。

* 社会増減のその他とは、住民基本台帳の記録漏れ又は誤記等を知った際の職権による記載、消除または修正等による増減の差引である。

* 第5次藤岡市総合計画で設定する本市の平成39年（令和9年）目標人口は、62,000人である。